



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 扶桑薬品工業株式会社

コード番号 4538 URL <https://www.fuso-pharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 総務本部長総務部長(兼)経理部長 (氏名) 古市 晴彦 (TEL) 06-6969-1131

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	16,046	3.5	972	63.0	911	40.9	642	39.0
2026年3月期第1四半期	15,503	6.0	596	△48.1	647	△28.8	462	△26.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	75.30	—
2026年3月期第1四半期	54.14	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	87,471	35,751	40.9
2026年3月期	90,323	35,057	38.8

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 35,751百万円 2026年3月期 35,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,500	0.9	800	△35.9	600	△47.0	500	△39.9	58.56
通期	63,200	1.4	2,000	△24.2	1,400	△40.4	1,300	△35.4	152.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	9,451,169株	2026年3月期	9,451,169株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	914,847株	2026年3月期	914,118株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	8,536,588株	2026年3月期1Q	8,539,884株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に、緩やかな回復基調が継続しました。一方、中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格や原材料価格の高騰、原油由来の資材の調達懸念、継続的な物価上昇に加え、米国通商政策をめぐる動向や金融資本市場の変動等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

医薬品業界では、薬価制度改革をはじめとして後発医薬品の使用促進策の強化等、医療費適正化諸施策が引き続き推進されており、経営のさらなる強化が求められるなか、研究開発費の増加、開発リスクの増大等、収益環境の厳しさが増しております。

このような状況のもと、当社は、主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリー等、人工透析関連製商品及び輸液等のより強固な浸透を図るとともに、後発医薬品の販売促進にも注力してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、薬価改定が後発医薬品の売上に及ぼすマイナスの影響はあったものの販売促進活動の効果等により、売上高は160億46百万円と前年同四半期と比べ5億43百万円(3.5%)の増加となりました。利益面につきましては、売上高の増加により営業利益は9億72百万円と前年同四半期と比べ3億75百万円(63.0%)の増加、経常利益は9億11百万円と前年同四半期と比べ2億64百万円(40.9%)の増加、また、四半期純利益は6億42百万円と前年同四半期と比べ1億80百万円(39.0%)の増加となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末の総資産は、投資その他の資産の増加等があったものの、売掛金の減少等により前事業年度末から28億52百万円(3.2%)減少し、874億71百万円となりました。

負債は、買掛金の増加等があったものの、電子記録債務や短期借入金、賞与引当金の減少等により前事業年度末から35億46百万円(6.4%)減少し、517億19百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により前事業年度末から6億94百万円(2.0%)増加し、357億51百万円となり、自己資本比率は40.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、現時点では2026年3月期決算発表時(2026年5月12日)に公表いたしました業績予想に変更はありません。しかし、中東情勢や米国の通商政策の動向、資源・原材料価格や物流コスト等の高騰、金融資本市場の変動等については、依然として不確実性が高く、予断を許さない状況が続いており、今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,846	4,574
売掛金	26,897	23,699
商品及び製品	13,525	13,333
仕掛品	75	85
原材料及び貯蔵品	2,082	2,417
仮払金	8,744	8,744
その他	1,164	1,229
流動資産合計	57,336	54,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,066	8,937
土地	8,820	8,820
その他（純額）	4,300	4,413
有形固定資産合計	22,186	22,170
無形固定資産	1,352	1,298
投資その他の資産	9,447	9,916
固定資産合計	32,987	33,385
資産合計	90,323	87,471
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	3,012	1,850
買掛金	4,067	4,420
短期借入金	26,604	24,489
未払法人税等	103	116
賞与引当金	930	480
訴訟関連損失引当金	8,744	8,744
その他の引当金	25	-
その他	8,198	8,074
流動負債合計	51,684	48,176
固定負債		
長期借入金	1,858	1,822
その他の引当金	177	182
その他	1,544	1,537
固定負債合計	3,581	3,543
負債合計	55,265	51,719

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	14,951	14,951
利益剰余金	13,881	14,139
自己株式	△2,595	△2,595
株主資本合計	36,995	37,253
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,736	3,172
土地再評価差額金	△4,674	△4,674
評価・換算差額等合計	△1,937	△1,501
純資産合計	35,057	35,751
負債純資産合計	90,323	87,471

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	15,503	16,046
売上原価	11,424	11,848
売上総利益	4,078	4,198
販売費及び一般管理費	3,482	3,225
営業利益	596	972
営業外収益		
受取利息及び配当金	60	93
受取保険金	77	82
その他	11	18
営業外収益合計	149	193
営業外費用		
支払利息	70	104
支払手数料	-	120
生命保険料	25	25
その他	3	4
営業外費用合計	99	254
経常利益	647	911
税引前四半期純利益	647	911
法人税、住民税及び事業税	74	74
法人税等調整額	110	194
法人税等合計	184	268
四半期純利益	462	642

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社は、東レ株式会社より、2018年12月13日付にて経口そう痒症改善剤ナルフラフィン塩酸塩OD錠 $2.5\mu\text{g}$ 「フソー」〔先発代表製品：レミッチOD錠 $2.5\mu\text{g}$ 〕に関する特許権侵害差止等請求訴訟を東京地方裁判所に提起されました。

その後、東京地方裁判所は東レ株式会社の請求を棄却する判決を下したため、2021年3月30日、東レ株式会社はこれを不服とし、知的財産高等裁判所に控訴いたしました。

2025年5月27日に知的財産高等裁判所は、東レ株式会社の請求を一部認容し、当社に対し、合計74億7,287万8,838円及びこれに対する遅延損害金の支払いを命じる判決を言い渡しました。

本判決に伴って訴訟関連損失引当金繰入額87億44百万円を2025年3月期の特別損失として計上しております。

なお、当社はこれまで、本製品は東レ株式会社が保有する特許権を侵害しないこと等を主張してまいりましたが、控訴審において当社の主張が認められなかったことは誠に遺憾であり承服できかねることから、2025年6月6日付けにて、最高裁判所に上告及び上告受理の申立てを行っております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、医薬品事業の他に不動産の賃貸を営んでおりますが、重要性が乏しいことからセグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	641百万円	653百万円